

地元の恵みを

おいしく食べよう



私たちが
住む宇都宮では、
米をはじめ、ナシ・トマ
ト・イチゴなどさまざまな
種類の農産物が作られて
いて、どれも全国に誇れるおい
しです。

地元で採れた農産物を食べる
ことは、地元の農業を応援するこ
ともつながります。

11月は地産地消費強化月間です。
宇都宮の農産物を、改めて見つめ直
してみませんか。

本文中に記載がないものは、原則として、対象となりませんが、費用は無料、申込不要。
 ①地区市民センター、②出張所、③生涯学習センター、④「うつのみや」表参道スクエア、⑤地域コミュニティセンター、⑥市民活動センター
 ⑦ホームページ、⑧Eメールアドレス、⑨地域自治センター

農業王国「うつのみや」



宇都宮は、
広大で肥沃な
農地と豊富な
水資源、長い

日照時間など、農産物を作るのに恵まれています。また、中心部を少し離れると田畑が多く見られ、普段私たちが食べている農産物などのような所でどのような人たちが作っているのかわることが出来ます。

応援しよう「宇都宮の農業 地産地消のススメ」



生産者たちは、おいしく安全な農産物を食卓に届けるため、日々工夫や努力を重ねながら生産に励んでいます。農産物を新鮮なうちにおいしく食べてもらうことが、生産者にとって励みになり、生産意欲の向上につながっていきます。

生産者が消費者の求める安全でおいしい農産物を生産し、お店が消費者に届け、消費者が地元の農産物を食べる。それらが上手くかみ

行ってみよう「うつのみや地産地消推進店」

合うことで「地産地消」が実践されます。地元で生産された農産物は遠くまで運ぶ必要がないので、新鮮なまま、よりおいしく食べる事が出来ます。

また、地産地消は、地元の農業を応援することになり、地域経済の活性化にもつながります。

食べてみよう「うつのみや地産地消推進店」



地元の農産物を買ったり食べたりすることが出来る

お店が、「うつのみや地産地消推進店」です。地産地消推進店は、地産地消に積極的に取り組んでいる店舗のうち一定の基準を満たし認定された店舗のことです。9月現在、市内に91店舗あり、農業王国「うつのみや」が実践されます。地元で生産された農産物は遠くまで運ぶ必要がないので、新鮮なまま、よりおいしく食べる事が出来ます。



▽期間 11月まで。
▽内容 市内で販売される地場農産物に付いている専用シール(右上の図)を集めて応募すると、宇都宮産ブランド農産物などが当たるプレゼント企画。
▽その他 実施店舗などについて、詳しくは、広報「うつのみや」10月号または市庁舎をご覧ください。



今年度、うつのみや地産地消推進店に認定した 梵天の湯農産物直売所(今里町)でお話を聞きました

地産地消推進店には
安心・安全で新鮮な
農産物と
交流があります

梵天の湯農産物直売所代表

古橋 正男さん



恵まれた環境を持つ宇都宮では、さまざまなおいしい農産物が採れます。上河内地域でも、昔「小倉米」と呼ばれた、江戸幕府に献上していたほどのおいしいお米が採れます。私自身、ハクサイやダイコンなど10品目を超える農産物を生産しています。

そんなおいしい農産物を、採れたその日のうちに新鮮なまま購入できるのが直売所です。そして、何よりも気を配っているのが、安心安全です。

どのような農産をいつ散布したのかなどを記録した生産履歴を、生産者の皆さんに必ず提出してもらっているのです、安心して買い求めただけです。

さまざまな種類の農産物が、旬の時期になると店頭に並びます。食べ方など分からないことなどがあれば、ぜひ声を掛けてください。調理方法だけでなく、どんな味がするのか、保存の仕方など、生産者・販売者両方の立場からアドバイスします。また、お客さんからいただく意見や感想は、生産者へ届け、次に生かしてもらっています。こうした交流ができることも、直売所の大きな魅力だと思います。これからも、消費者と生産者の思いをつないでいければと思っています。

生産者の声



花塚 知章さん(今里町)

地元で取れた農産物を使って団子やまんじゅうなどの加工品を生産しています。「おいしかったよ」とか「甘すぎるかな」などのお客さんの声が届くので、勉強になります。また、他の生産者と知り合うことができ、新しいアイデアが生まれることもあるのでおもしろいです。

お客さんの声



田崎 マサさん(上小倉町)

採れたてのおいしい野菜がたくさんあるこのお店には、オープン以来、週3回程度通っています。近所の生産者が作った農作物もたくさん並んでいるので、買うのが楽しみです。これからも、頑張っている生産者の皆さんを応援していきたいです。

コラム

宇都宮産米の味に慣れ親しむ うつのみやはじめてのご飯事業



大好きなお米が
もらえて
うれしいな



味覚形成に重要な時期である、1歳6カ月を迎える子どもがいる家庭に、健診の会場で宇都宮産米と啓発用パンフレットを配布しています。

宇都宮産米の味に子どもの頃から親しむ機会をつくり、食育の推進や健診の受診率向上を図るとともに、宇都宮産米の認知度・水田農業への関心を高め、お米の消費拡大につなげていきます。

堀川 煌世くん、優子さん
(氷室町)

宮の農資源を活用した新商品の開発 アグリビジネス創出促進事業

アグリビジネスとは、宇都宮産農産物などの農資源を活用した、新商品などの創出に関する取り組みのことです。これまでに、「にっこり」「とちおとめ」「ゆず」などの農産物を活用した商品が、誕生しています。

こうした取り組みは、生産者などの新規創造に対する意欲的な挑戦を促進するとともに、本市の産業振興の向上にもつながっています。

■開発商品の試食・販売会in宮カフェ

▽日時 11月7日(土)午前11時~午後3時。

▽会場 宮カフェ(江野町)。

▽内容 宇都宮産の野菜・果物を使った「アイスキャンディー」「野菜の刺身」「柚あんみつ」の試食・販売。

◎この特集についての問い合わせは、農業振興課 ☎(632)2843へ。